

質問した事項

渡辺 義光 議員（市民クラブ）……………10
 ・姉妹都市・友好都市との交流の現状と課題について
 ・職員研修と人材育成事業の在り方について

羽沢 寿隆 議員（八起会）……………11
 ・移動式期日前投票所設置事業について
 ・有害鳥獣対策について

工藤 直道 議員（自由クラブ）……………12
 ・米騒動の影響と生産拡大について
 ・八幡平市交流複合施設（八幡平市立図書館）運営について

工藤 多弘 議員（松西会）……………12
 ・八幡平市交流複合施設について
 ・公共交通事業について

外山 一則 議員（八起会）……………13
 ・八幡平エリアの観光課題について
 ・第3次八幡平市総合計画と佐々木市政について

高橋 悦郎 議員（日本共産党）……………14
 ・農業問題について
 ・八幡平市交流複合施設の運営について

古川 津好 議員（松西会）……………14
 ・都市計画と道路整備について
 ・保育園、小中学校の統合について
 ・クマの被害対策について

齊藤 隆雄 議員（日本共産党）……………15
 ・ごみの減量化・資源化について
 ・ごみ処理広域化について
 ・除雪について

熊澤 博 議員（自由クラブ）……………16
 ・学童保育クラブ(放課後児童クラブ)の在り方について
 ・補聴器購入助成について

田村 正元 議員（八起会）……………16
 ・子育て支援と学校教育について
 ・防災、安全対策について
 ・観光振興対策と今後の振興計画について



わたなべ よしみつ
渡辺義光 議員



(市民クラブ)

姉妹・友好都市との交流 名護市・宮古市と絆強化



市民総参加で交流の輪を広げよう

問 当市の姉妹都市は宮古市、友好都市は沖縄県名護市、交流はタイ国タマサート大学と長年の友好・交流の文化がある。今後、市民レベルの交流を拡大し、物産販売、関係人口、ふるさと納税、移住対策に結び付くよう親交を強化しては。

市長 両市とは10月の山賊まつり出店や各種イベント、芸能団体の出演など約40年の相互交流があるが、内容が固定化され参加者が限定されるなどの課題がある。姉妹・友好都市提携40周年を記念し、両市と市民レベルの交流や支援を検討する。

問 江間章子さんの縁で始まった東京都世田谷区や安代りんどうが取り持つニュージーランドホロフェニア地区との交流は休眠状態である。交流解消したのか。

市民部長 2市との交流は疎遠状態である。総合的に調査し再開に向け努力する。

市長 職員一人一人の資質向上と能力開発を図り課題達成のために自ら考え実行する自律的な研修を実施中。研修で学んだ知識や経験を生かし職員による職員のための教育制度を拡充、強化する。3町村史を教材に郷土愛と当事者意識を育む。

自律的な職員研修



はざわ ひさたか
羽沢寿隆 議員



(八起会)

クマとの共存は不可能 国・県と連携していく



クマ食害の実態

問 今年はクマによる被害が特別である。毎日のように集落に出没し被害を繰り返しており、住民は大きな危険にさらされている。早急な対策が必要では。

市長 従来通りに猟友会などと連携を密にしていこう。危険な仕事に従事する

市長 9月より緊急銃猟制度が開始される。またSNSアプリ「ベアーズ」でも目撃情報を発信している。市民の生命や安全が最優先、人的被害があつたら

移動期日前投票所 遠方集落に拡充を
問 バスによる期日前投票所の設置は利用者に非常に評判がいい。費用もさほど要しないので遠方の集落にもこまめに実施すべきでは。

選挙管理委員会委員長 バスの乗り入れの問題もある。検討が必要である。
問 入場券を「はがき」ではなく、世帯向けのチラシ入り封書にすれば、周知も徹底されるのではないか。



くどう なおみち
工藤直道 議員



(自由クラブ)

米農業再生を地方から

市としての方向性を国へ

問 肥料、生産資材、機械が高騰している。営農が続けられる生産者米価について考えを伺う。

市長 農業経営にとって大きな痛手となっている。適正な米価水準の維持・生産コストを踏まえた米価設定、生産基盤の充実、高品質米

のブランド化などが重要と考える。

問 国では、輸出入を推進し、新市場開拓米の生産者に107当たり4万円の補助がある。要件を伺う。

産業建設部長 対象作物の低コスト生産者に対し作付け面積に応じ交付される。

問 米農家の高齢化が進んでいる。規模拡大要件を満たせない農家にも継続できる支援事業を導入すべきではないか。

農林課長 今後は要件などを見直し、調査研究、事例を検討してまいりたい。

問 市として、基幹産業で



米価に期待し新米の収穫が本格化

図書館の集客は

問 図書館を大更中心地の活性化に導く考えを伺う。

市長 施設のさまざまな機能を横断的に利用していただき、交流がより一層図られ、にぎわいが生まれるものと考えている。



くどう たひろ
工藤多弘 議員



(松西会)

八幡平市交流複合施設

試算は行っていない



完成間近の八幡平市交流複合施設

問 市交流複合施設(8テラス)が完成して10年後、20年後の維持管理費は試算しているか。また、財源確保策についても伺う。

市長 10年後、20年後の財政負担の試算は行っていない。財源確保策としては、子育て支援エリアで活用可能な補助金の充当、施設利用料や賃料による事業収入の増加を目指す。また、ランニングコスト抑制のため、予備設計の段階から空調設備の省エネ化を検討してきた。指定管理者と協議し、コスト削減策を進め、持続可能な運営体制を確立する。

問 試算を行っていないことは、ランニングコスト抑制の検討と矛盾する。公共施設等総合管理計画とも整合性がないのではないか。

企画総務部長 財源確保策の詳細を検討中のため、明確な試算は示せない。市の基金や子育て支援への補助金などを活用し、今後、県と連携し、財源確保策が固まり次第説明する。

問 市内の団体が指定管理者となるよう検討したのか。

産業建設部長 指定管理者は市への移住も検討しており、市内での雇用も求めている。3年間の運営で、今後の在り方を検討する。



そとやかずひろ
外山一則 議員



(八起会)

マナー条例の制定が必要

安心安全のため研究する

問 外国人の観光客や移住者が急激に増えていると感じる。今後増えるであろう外国人観光客から市民の安心安全を守るためにマナー条例の制定が必要では

産業建設部長 市民と観光客、お互いが快適に過ごせるように正しい情報の共有

啓発、そして、関係者間での協力体制の構築が重要なので、状況を注視しながら研究していく。

問 近年、八幡平大黒森付近でスノーモービルを楽しむ人が増えてきている。バックカントリーの人もいるので、衝突事故や雪崩の

リスクが高まっていると思うが、当局の見解は。

市長 衝突事故のリスクが高まっていることは認識している。スノーモービルの乗り入れは規制があるので、周知看板の設置を行っている。さらに利用者への注意喚起やマナー周知の方法に



長野県白馬村のマナー条例チラシ

について検討する。

第3次総合計画と佐々木市政の今後

問 令和8年度から始まる第3次総合計画に向けて佐々木市長の考え方は。

市長 次の任期に向け6つの重点公約を掲げている。



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)



主食用米の作付け奨励を

理解するが農家の判断で

の経営状況を考慮して判断していただきたい。

新図書館について

問 現図書館運営では、20名ほどのボランティアの方たちが、読み聞かせ活動や館内の壁面装飾、本のクリニックなど、図書館活動を

担ってきた。新図書館でも引き続きボランティア活動に参加していただきたいと考えるが、活動を続けてほしいと要請がないと聞いた。また、現NPO法人の職員の雇用についても伺う。
教育次長 ボランティアの方々には引き続きお願いし

たい。情報が伝わっていないのであれば、事実関係を確認して全員に伝えたい。また、現図書館のNPO法人の職員については、これまで働いてきたノウハウは大変貴重である。現NPO職員を優先していただきたいと指定管理者に伝えたい。



コンバインでの刈り取り風景

問 八幡平市の主食用米の令和7年産米の作付け状況はどうなっているのか。
産業建設部長 令和7年産の生産目安は2098鈴だが、米価高騰を受け、前年より440鈴増えた。
問 農協は今年の仮払金、60万2万8000円で3年

間契約する内容である。8年産米に向けて、主食用米の作付けを市として奨励するべきではないか。
副市長 主食用米にシフトしてもらいたいのは当然である。しかし、個々の農業経営はいろいろな条件が違う。市としては、各農家が個々



ふるかわ つよし
古川津好 議員
(松西会)



どうする都市計画道路

マスタープランで見直し



解消したい、狭い道路との交差点

問 大更地内は、狭あいな道路や都市計画道路と整備された市道が近接している。計画路線上の人は、いつ計画が実行されるか、不安定な状況で生活している。過去に見直しをするとのことだったが、この都市計画道路はどうするか。

市長 今年から2年間かけて、都市計画マスタープランを見直す予定である。その中で交通動向や交通量の調査を行い、道路整備につなげてまいりたい。

小中学校の統合

問 広報7月号に掲載され

た市内の小中学校の生徒数を見ると、令和19年度の安代中学校の入学見込み者は4名の見通しである。この少子化が進む状況からすると、松尾地区だけではなく、西根・安代地区でも小学校の統合が必要ではないか。
教育長 中学校と松尾地区

の小学校の統合を進め、その後、西根の平館地区、大更地区についても統合の働きかけをしていきたい。

クマの被害対策

問 頻繁にクマが目撃され、子どもたちが襲われる事態が心配される。富山県南砺

市では、学校周辺に高周波発生装置を設置してクマ対策を行い、効果を上げている。当市でも学校・保育園周辺で検討すべきではないか。
教育次長 事例紹介があったまへ、状況を問い合わせて検討したい。



さいとう たかお
齊藤隆雄 議員
(日本共産党)



生ごみの減量・資源化を

全国の導入事例を参考に

広域化の規模は

問 ごみ処理の広域化に伴う事業費、市町費用負担および市民への情報開示は。

市長 令和14年度から稼働し、15年間の全体事業費は1045億円、本市の全体負担額は34億円と試算して

いる。市のホームページや盛岡広域環境組合が発行する「盛岡広域環境組合ニュース」の全戸配布などを通じて、随時情報発信を行っていききたい。

問 日処理量378tの施設規模における本市の推計値はどれくらいか。



瀬ノ沢ごみ集積場

市長 約20tになると見込んでいる。

除雪の支援が必要

問 高齢化や一人暮らしを考慮した、排雪までを含む支援が必要と考えるが。
市長 適時適切な排雪に努める。



くまざわ ひろし
熊澤 博 議員



(自由クラブ)

学童保育クラブの現状は

13施設に児童数482名



寺田学童保育クラブ

問 市内の学童保育クラブの数、学童数、支援員数は、**市長** 学童保育クラブ数は13、学童数は482名、支援員数は66名である。**問** 支援員の賃金や処遇改善については、国の「子ども・子育て支援対策交付金」などで支援されること

になっているが、実情について伺う。**健康こども課長** 指定管理者から、人件費の上昇を理由に、毎年市へ要望書が提出されている。それを受け、市は指定管理料や受託料に上乗せして、変更契約を行っている。

問 市の子育て支援計画や報告書を踏まえ、学童保育についてどのように考えているか伺う。**市長** 児童の健全育成を図るため、安心・安全な遊びと生活の場を提供することは重要であり、保護者が安心して働ける環境を整える

うえでも、将来にわたって重要な施策であると認識している。**補聴器の購入助成** **問** 18歳未満の難聴児を対象に、県と市で3分の2を助成する補聴器購入助成事業の内容は。

市長 6年度は6件の申請があり、県と市が費用の3分の1ずつを助成した。**問** 18歳以上への補聴器購入助成に取り組む考えは。**市長** 認知症やうつ病などの観点からも、どのような支援が可能か、調査研究を進めてまいりたい。



たむらまさもと
田村正元 議員



(八起会)

小中学校統合の進捗状況

小学校は松尾地区を優先



統合先を予定している松野小学校

問 小学校の統合について、住民説明会も踏まえて進捗状況と今後の計画を伺う。**教育長** 松尾地区3校について、8月19日に市長、教育長、教育委員で統合方針を判断し、9年4月の統合校開校を目指す。西根地区は寺田と平舘、大更地区は

大更と平舘、田頭の3校を統合する形で進めていく。**問** 中学校の統合について、住民説明会も踏まえて進捗状況と今後の計画を伺う。**教育長** 8年1月に専門業者の調査結果も踏まえて、優先候補地案を示す。2月には優先候補地の判断、決

定をする方向で考えている。**問** 中学校統合後の部活動は、どう考えているのか。**教育指導課長** 現在ある部活は引き継ぐ方向となるが、学校での部活とならない種目も出てくる。来年度から一部の部活動が地域移行となり、合同での部活となる。

赤川河道掘削実施 **問** 市内の河川改修の維持管理で7年度に実施する立木伐採の内容について伺う。**建設課長** 米代川、鴨田川、長川、赤川などを実施する。赤川については、樫沢大橋上流から長川との合流地点

での立木撤去を実施する。**海外増、国内減** **問** 第4期観光振興計画の現状の成果進捗は。**産業建設部長** 海外は客数、消費額ともに伸びているが、国内は客数が減少している。国内の誘客強化を検討する。

議会の動き

(令和7年7月4日～10月7日)

7月

- ▶4日 第72回岩手地区議会議員大会研修会
- ▶8日 議会広聴広報常任委員会
- ▶10日 令和7年度盛岡広域8市町議会議長会会議
- ▶16日 知事を囲む懇談会
- ▶25日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査（例月現金出納検査）、盛岡広域環境組合監査（例月現金出納検査）
- ▶28日 会派代表者会議
- ▶29日 宮城県色麻町議会視察来庁
- ▶31日 栃木県矢板市議会視察来庁

8月

- ▶8日 議員全員協議会、議会改革推進会議
- ▶18日 議会運営委員会
- ▶19日 八起会・市民クラブ合同視察研修（～21日）
- ▶25日 令和7年第3回定例会（～9月12日）、議会広聴広報常任委員会
- ▶26日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査（例月現金出納検査）、盛岡広域環境組合監査（例月現金出納検査）
- ▶27日 産業民生常任委員会
- ▶28日 総務教育常任委員会
- ▶29日 決算特別委員会、総務教育常任委員会

9月

- ▶1日 分科会決算審査（総務教育分科会）（～2日）
- ▶3日 分科会決算審査（産業民生分科会）（～4日）
- ▶5日 決算特別委員会、議会運営委員会
- ▶8日 分科会決算審査（各分科会ごと）
- ▶10日 決算特別委員会、議会広聴広報常任委員会
- ▶12日 議員研修報告会、議会運営委員会
- ▶19日 議会広聴広報常任委員会
- ▶29日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査（例月現金出納検査）、盛岡広域環境組合監査（例月現金出納検査）

10月

- ▶2日 議会運営委員会
- ▶6日 議会広聴広報常任委員会

議会広聴広報常任委員会

- 期日 令和7年9月10日
- 場所 議事堂委員会室
- 内容 「議員と語る会」の開催を検討



「議員と語る会」の開催場所・内容を検討

議員と語る会の内容と場所を検討

「議員と語る会」の開催について協議を行いました。今回の「議員と語る会」は、昨年度に引き続き「ギカイのひろば」の内容で語ろう」をテーマとし、「ギカイのひろばNo.81号」に掲載されている内容をもとに、市民の皆さまと意見交換を行うこととなりました。開催日は、令和7年11月15日(土)、会場は田山コミュニティセンターが午後2時から、市役所は午前10時、午後2時、午後6時(計3回)に分けて開催し、皆さまが参加しやすい時間を選ぶよう調整いたしました。

総務教育常任委員会

- 期日 令和7年8月29日
- 場所 議事堂委員会室
- 内容 学校統合に係る教育委員会との意見交換



令和7年8月8日の議員全員協議会の様子

松尾地区の3小学校統合

8月8日の議員全員協議会で説明があった松尾地区の小学校統合を含む小中学校の統合について、教育委員会と総務教育常任委員会の意見交換会が行われました。教育委員会からは、第3期八幡平市小中学校適正配置計画に基づき、西根・松尾地区の3校の中学校を優先的に統合し、新設校を建設すると説明がありました。中学校の



教育委員会との意見交換会の様子

建設場所は調査結果をもとに決定することです。また、松尾地区の3小学校については2024年10月に「松尾地区小学校統合を推進する会」から117名分の署名入り要望書が提出されたことを受け、2027年4月の開校を目指し、松尾地区の3小学校を松野小学校に統合する計画であると説明がありました。委員からは部活動の継続や地域移行に課題があり、環境整備が必要との指摘もありました。今後も委員会の最優先事項として取り組みます。

会派視察研修

(八起会・市民クラブ)



辰野町トビチ商店街での研修風景

対応する「持続可能な観光地経営に関する条例」について、副村長の吉田様から詳しく学ぶことができました。上田市では、スポーツツーリズムの先進地である菅平高原の「菅平サニアパーク」と「菅平アリーナ」を視察しました。夏はラグビーや陸上の合宿の聖地、冬はアルペンスキーの競技別強化拠点であり、当市の可能性について学ぶことができました。訪れた3市町村の取り組みを、今後の議会活動にしっかりと生かしてまいります。

- 期日 令和7年8月19日・20日・21日
- 場所 長野県辰野町、白馬村、上田市
- 内容 商店街活性化と観光インバウンド対応条例、スポーツ合宿の先進地について、意見交換踏まえた現地視察

民間と行政が投資含めて協力

辰野町では、「トビチ商店街」で行われている地域活性化について、仕掛人である一般社団法人〇(まる)と編集社の赤羽様より、空き家を活用した不動産施策をはじめ、熱意あるご指導をいただき、新たな発想を学ぶことができました。白馬村では、独自に制定した条例とガイドラインを基盤に、増加するインバウンド観光客にも



菅平アリーナでの集合写真

次は12月定例会(予定) ※日程は変更になる場合があります。

期 日	内 容
12月4日(木)	議案上程 ほか
12月5日(金)	一般質問
12月6日(土)～7日(日)	休 会
12月8日(月)～9日(火)	一般質問
12月10日(水)	議案審議
12月11日(木)	休 会
12月12日(金)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

開催時刻は一部を除き午前10時からです(終了時間は日によって異なります)。詳しくは、八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット(YouTubeの八幡平市議会のチャンネル)で録画配信しています。

令和7年9月定例会の視聴回数は5,454回です。

6月定例会の視聴回数は2,090回でした。

(令和7年10月7日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう?

合併後、旧3町村の議会議員○人によって、初の八幡平市議会が開催された。

- 応募方法 答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます)。
- ※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係 FAX: 0195-74-2105 E-mail: gikai@city.hachimantai.lg.jp
- 締め切り 令和7年12月5日(金)(当日消印有効)
- 前回(No.80)の正解 1(人)
- 応募者 11人 正解者11人